



報道関係各位

2013年5月27日
ゾエティス・ジャパン株式会社

ゾエティス社 2013年第1四半期業績の報告

■この資料について

この資料は米国ゾエティス社が2013年4月30日（米国現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳再編集し、皆さまのご参考に供するものです。正式言語は英語であり、その内容及び解釈については英語が優先します。

Zoetis™ 2013年第1四半期業績報告

- 2013年第1四半期は、2012年同期に比べて4%増の、10.9億ドルの売上収益を上げた。
- 2013年第1四半期の純利益は、1億4000万ドル、または希薄化後1株当たり利益0.28ドルで、2012年同期に比べてそれぞれ26%と27%増えた。
- 2013年第1四半期の調整後純利益¹は、1億7900万ドル、調整・希薄化後1株当たり利益¹0.36ドルで、2012年同期に比べてそれぞれ18%と20%増えた。
- 当社は、2013年通年の調整・希薄化後1株当たり利益¹ガイダンスを1.36～1.42ドルとしている。

ニュージャージー州マジソン、2013年4月30日 - Pfizer Inc.のアニマルヘルス事業であったZoetis™ (NYSE: ZTS) ()は、本日、2013年第1四半期の業績を報告した。当社は、第1四半期に、2012年同期に比べて4%増の10.9億ドルの売上収益を上げた。売上収益は、オペレーショナルベース²（為替の影響を除外したベース）で5%成長し、外国通貨の悪影響は1%であった。

2013年第1四半期の純利益は、1億4000万ドル、希薄化後1株当たり利益0.28ドルで、2012年同期に比べてそれぞれ26%と27%増えた。2013年第1四半期の調整後純利益¹は、パーチェスアカウント調整、買収関連費用および一部の重大項目による3900万ドルのネットインパクト、希薄化後1株当たりの0.08ドルを除外している。2013年第1四半期の調整後純利益¹は、1億7900万ドル、調整・希薄化後1株当たり利益0.36ドルで、2012年同期に比べてそれぞれ18%と20%増えた。

総論

「Zoetis は、高品質の医薬品およびワクチンを全世界の獣医師および畜産生産者に提供し、当社が市場において首位であり、当社の研究開発力および製品製造能力に基づいて、市場におけるリーダー

シップの維持に注力しています」と Zoetis 最高経営責任者の Juan Ramón Alaix (ホアン・ラモン・アレックス)は語っている。「新たに独立企業として設立された当社は、アニマルヘルス産業に専心し、動物を飼育してケアする人々に貢献できる力を強化するつもりです。」

「第1四半期において、当社は、家畜やコンパニオンアニマルヘルス製品の多様なポートフォリオに対する全世界的な需要を反映し、全地域において営業売り上げを増進させています。」と Alaix は語った。「また、我々は、資源の適切な配分と成長戦略の追及を通じて、Zoetis の収益を成長させ続け、売り上げよりも早い速度で収益を増やすことができました。当社の多様なポートフォリオ、優れた研究開発および世界市場における直接、顧客と接することが出来る拠点によって、当社の業績は確実なものになっています。」

四半期ハイライト

Zoetis は、米国、欧州/アフリカ/中東、カナダ/ラテンアメリカおよびアジア/太平洋の 4 つの地域の経営区分に分けて、事業を組織し運営している。各地域において、当社は、地域動向および顧客ニーズに合わせて畜産向けおよびコンパニオンアニマル向けの多様な製品ポートフォリオを提供している。

2013 年第 1 四半期において：

- 米国の売上収益は、2012 年第 1 四半期に比べて 7%増の 4 億 5400 万ドルだった。この結果は、この地域におけるコンパニオンアニマル製品の売上げが好調であったことが主因である。畜産向け製品の売上げは伸長したものの、北米における長引く干ばつによって、畜産生産者、特に牛に影響を与えて売上げの伸長を抑制した。
- 欧州/アフリカ/中東の売上収益は、2012 年第 1 四半期に比べて 4%増の 2 億 9000 万ドルであった。成長の要因となったのは、コンパニオンアニマル製品の売上、ならびに畜産向け、特に欧州連合における豚および鶏向け製品の増加であった。
- カナダ/ラテンアメリカの売上収益は、2012 年第 1 四半期に比べて 4%増の 1 億 7100 万ドルであった。豚、牛および鶏向けの畜産向け製品の売上は、ブラジル、カナダをはじめとする地域の成長に貢献した。一方、この地域のコンパニオンアニマル製品の売上げは減少した。
- アジア/太平洋の売上収益は、2012 年第 1 四半期に比べて 2%増の 1 億 7500 万ドルだった。この結果は、オーストラリア、ニュージーランドおよび東南アジアにおける畜産向け製品、特に豚向け製品、の成長に起因しており、コンパニオンアニマル製品の売上げも伸長した。

Zoetis は、ブランドライフサイクルマネジメント、カスタマーリレーションシップの強化および新市場や技術へのアクセスを通じて、多様な製品ポートフォリオを強化し、需要の促進を続けている。広範囲かつ多様な製品ポートフォリオを有する当社は、現行の製品ラインのパフォーマンスおよびデリバリーを向上させて、各動物種における製品の適応症を拡大すること、地域を超えて承認を得ることに力を注いでいる。最近のハイライトには以下がある：

- 例えば、当社は日本において最近、Fostera™ PCV(フォステラ®PCV)を登録するとともに、さらに豚向けのドラクシン®を発売した。フォステラ®PCVは、1 回の投与でブタ サークウイルス タイプ 2 ウィルス血症を予防するワクチンである。本製品は、家畜の健康やパフォーマンスを損なう可能性のある疾患による大きな損害を抑えるのに役立つ。当社の PCV ワクチンは、Suvaxyn®ブランドで、2006 年に米国で初めて承認され、現在全世界 23 ケ国で商品化されている。ドラクシン®は、牛および豚の呼吸器疾患やその他の感受性の高い細菌感染症を撲滅し、1 回の投与で治療を行うことができる抗生物質の注射剤である。ドラクシン®は、2003 年に欧州で初めて承認され、現在、Zoetis の売上上位製品のひとつであり、全世界の 69 ケ国で販売されている。
- 当社は、3 月に中国でコンパニオンアニマル向けの抗生物質コンベニア®を発売した。コンベニア®は、毎日の投薬の手間を省き、1 回の注射で治療の全過程を行うことができる、犬および猫によくみられる細菌性皮膚感染症の初の抗菌剤である。2006 年に欧州連合で初めて承認され、現在、50 ケ国で販売されている。同製品は、当社のコンパニオンアニマル主力製品のひとつとなった。
- Zoetis は、アルゼンチンの大規模な酪農のパートナーと契約を締結し、アルゼンチンにおいて、この顧客の農場経営上のニーズを満たすための新たな技術である Clarifide®を用いて、牛にゲノム試験を行っている。これらの試験を使用して、Zoetis は、十分な情報に基づく意志決定を行い、家畜をより効果的に管理し、牛の生産量を増やす手助けをしている。

財務ガイダンスおよびコメント

「2013 年通年の当社ガイダンスは、現行の為替レートで示され、当社のポートフォリオの多様性および当社のビジネスモデルの強みに対する自信、および今年の実現途上のアニマルヘルス製品市場に関する見解を反映している」と Rick Passov Zoetis 副社長兼最高財務責任者は語った。「アニマルヘルス産業の基本は引き続き好調であるが、将来の業績に影響を及ぼす可能性のある主たる要素は、引き続き発展するマクロ経済状況、気候関連の課題および潜在的な疾病発生である。」当社は、グローバルな規模、地域におけるプレゼンスおよびイノベーションを生かして、当社の活動環境における変化にうまく適応している。

Zoetisは、44.25億ドルから45.25億ドルの売上収益を含む、2013年通年の財務ガイダンスを提示した。当社はまた、通年で、1.00ドルから1.06ドルの希薄化後1株当たり利益を達成する予想である。これは、主に、独立企業となったことに伴う2億ドルから2.4億ドルの経常外費用の影響を含む。通年の調整後希薄化後1株当たり利益¹は、パーチェスアカウンティング調整、買収関連費用および一部の重大事項を除き、1株当たり1.36ドルから1.42ドルになると予想されている。2013年の財務ガイダンスは、2013年4月半ば時点の為替レートを反映している。税率や支出などのその他の項目に関する追加ガイダンスは、財務表に盛り込まれ、当社の電話会議にて論じる。

ウェブキャスト & 電話会議詳細

Zoetisは、本日午前8時30分（東部夏時間）にウェブキャスト/電話会議を開催し、その場において当社幹部が第1四半期財務決算をレビューし、2013年財務ガイダンスについて論じ、財務アナリストからの質問に答える。投資家および一般の方々には、<http://www.zoetis.com/events-and-presentations>のZoetisホームページでライブウェブキャストにアクセスすることができる。ウェブキャストのデータは、保存され、4月30日に利用可能となる。

ZOETISについて

Zoetis（ゾエティス）は、家畜およびコンパニオンアニマルを育て、飼うことに注力する顧客やビジネスを支援することを専門とする大手アニマルヘルス企業である。Pfizerのアニマルヘルス事業としての60年の経験を生かして、Zoetisは、診断用製品、遺伝子テストおよび各種サービスと共に、動物用ワクチンや医薬品の創薬、開発、製造および販売を行っている。当社の年間売上収益は、2012年に43億ドルに達した。同社は世界中に9300人以上の社員を有し、11ヶ国に29の製造拠点を有するのを含め、約70ヶ国に拠点を設けている。当社の製品は、120ヶ国にのぼる獣医師、家畜生産者および家畜やコンパニオンアニマルを育て、飼っている人々に貢献している。詳細については、www.zoetis.comを閲覧してください。

1 調整後純利益および1株当たりの調整後希薄化後収益（GAAP（一般に公正妥当と認められる会計原則）に基づかない財務指標）とは、パーチェスアカウンティング調整、買収関連費用および一部の重大事項を除くZoetisに起因する報告済みの純利益および報告済み1株当たりの希薄化後収益と定義される。

2 経常売上収益の成長とは、外国為替の影響を除く売上収益の成長と定義する。

情報開示上の注意事項

将来の見通しに関する記述：本ニュースリリースは、将来の見通しに関する記述を含む。これらの将来の見通しに関する記述は、当社の2013年財務ガイダンスに関する様々な事項について言及し、今後の業績について予想している。本ニュースリリースに含まれている将来の見通しに関する記述はいずれも、実際の結果を当該記述により明記または示唆されているものと大きく異なるものにする可能性のあるリスクや不透明性の影響を受ける。適用されるリスクおよび不透明性には、とりわけ抗生物質の使用規制および新製品承認のタイミングなどの規制措置、当社製品を使用する動物に関連する人間の健康に対する認識されている悪影響、中国のH7N9鳥インフルエンザなど当社製品を使用する動物の感染性疾患の発生、ジェネリック製品メーカーなどの、競合他社からの圧力、為替レートの変動などの国際的な経済の展開、環境の動向および条件および、2013年3月28日に証券取引委員会に提出された2012年フォーム10-Kに関する当社年次報告書内の「リスクファクター」の項および同委員会に提出したその他の情報にて特定したリスクを含む。当社は、本ニュースリリースに含まれる将来の見通しに関する記述に著しく依存しないように投資家らに注意を喚起する。これらおよびその他のリスクや不透明性についての議論の際には、www.sec.govにおいて閲覧可能な、当社が証券取引委員会に提出した書類を読むことが望ましい。本ニュースリリースの将来の見通しに関する記述は、本文書の作成日時点に関する内容であり、当社は、当該記述を更新または改訂する義務を負わない。当社の事業は、上記を含む重大なリスクおよび不透明性の影響を受ける。投資家、潜在的投資家およびその他は、これらのリスクおよび不透明性を十分に考慮すべきである。

GAAPに基づかない財務指標の使用：当社は、当社の業績およびトレンドを評価、分析し、財務上および経営上の決定を下すために調整後純利益や調整後・希薄化後1株あたり収益などのGAAPに基づかない財務指標を使用している。当社は、これらのGAAPに基づかない財務指標は、当社の業績に関する透明性を高めるため、投資家にとっても有益であると考えている。本ニュースリリースに記載されているGAAPに基づかない財務指標は、純利益、経常利益および1株当たりの収益など、GAAPが義務付けている指標の代替品と見なすべきではなく、流動性の指標と見なすべきではない。GAAPに基づかない財務指標は、他社が提供するGAAPに基づかない情報と比べることはしない。GAAPに基づかない財務指標の調整およびGAAPに基づいた財務指標は、本ニュースリリースに添付の表に記載されており、www.zoetis.comにて掲載されている。

情報のインターネット掲載：当社は、www.zoetis.comの当社ホームページ「投資家」のセクション、Facebookページ<http://www.facebook.com/zoetis>またはツイッターTwitter@zoetisなどにおいて、投資家にとって重要な可能性のある情報を定期的に掲載している。当社は、投資家および潜在的投資家に、当社に関する重要情報については、当社のホームページを定期的に閲覧し、Facebookおよびツイッターをフォローすることを推奨する。

報道問い合わせ先：
Bill Price
1-973-660-5763 (o)
william.price@zoetis.com

Elinore White
1-973-401-4044 (o)
elinore.y.white@zoetis.com

投資家対応：
Dina Fede
1-973-660-5441 (o)

John O'Connor
1-973-660-6964 (o)

ZOETIS INC.
連結損益計算書^(a)
(未監査)

(百万ドル、1株当たりのデータを除く)

	第1四半期		増減率
	2013	2012	
売上収益	\$1,090	\$1,047	4
売上原価および費用：			
売上原価 ^(b)	402	393	2
販売、一般管理費 ^(b)	357	338	6
研究開発費 ^(b)	90	102	(12)
無形資産の償却 ^(c)	15	16	(6)
リストラ費用および一部の買収関連費用	7	25	(72)
支払い利息	22	8	175
その他の(収入)/純控除額	5	(6)	(183)
法人税引当金引前所得	192	171	12
法人税引当金	52	59	(12)
非支配持分割り当て前純利益	140	112	25
マイナス：非支配持分に帰属する純利益	-	1	(100)
Zoetisに帰属する純利益	<u>\$140</u>	<u>\$111</u>	26
1株あたり収益—基本	<u>\$0.28</u>	<u>\$0.22</u>	27
1株あたり収益—希薄化後	<u>\$0.28</u>	<u>\$0.22</u>	27
1株当たりの収益の計算には、加重平均株を使用(単位：千株)			
基本	<u>500,000</u>	<u>500,000</u>	
希薄化後	<u>500,111</u>	<u>500,000</u>	

(a) 連結損益計算書は、2013年3月31日および2012年4月1日を末日とする3ヶ月間に関するものである。米国外で活動する子会社は、2013年2月24日と2012年2月26日を末日とする3ヶ月間に含まれている。

(b) 無形資産の減価償却を除く。但し、以下の脚注(c)の記述を除く。

(c) 当社の製品、化合物および知的財産の販売、製造、調査、マーケティングおよび流通能力を高める、耐用年数に限りのある取得済無形資産に関連する原価償却費は、当該無形資産は、複数の事業に恩恵を与えるため、*無形資産の減価償却*に含まれている。単一の事業に関連する取得済無形資産に関する償却費は、*売上原価*、*販売*、*一般管理費*、*研究開発費*に適宜含まれている。

一定額および比率は、四捨五入されている場合がある。

ZOETIS INC.
GAAP に基づかない調整後情報に計上された GAAP の調整
一部項目
(未監査)
(百万ドル、1株当たりのデータを除く)

	2013年3月31日を末日とする四半期				GAAP に基 づかない 調整後 ^(a)
	GAAP 計上 ⁽¹⁾	パーチェス アカウント イング調整	買収関連費 用 ⁽²⁾	一部の重大 事項 ⁽³⁾	
売上収益	\$1,090	\$-	\$-	\$-	1,090
売上原価 ^(b)	402	(1)	-	(3)	398
売上総利益	688	1	-	3	692
販売・一般管理費 ^(b)	357	-	-	(35)	322
研究開発費 ^(b)	90	-	-	-	90
無形資産の減価償却 ^(c)	15	(11)	-	-	4
リストラ費用および一部の買収関連費用	7	-	(6)	(1)	-
支払い利息	22	-	-	-	22
その他の正味 (利益) /控除	5	-	-	(3)	2
法人税引当金引き前利益	192	12	6	42	252
法人税引当金	52	4	2	15	73
Zoetis に帰属する純利益	140	8	4	27	179
Zoetisに帰属する普通株 1株あたり収益-希薄化 後 ^(d)	0.28	0.02	0.01	0.05	0.36

	2013年4月1日を末日とする四半期				GAAP に基 づかない 調整後 ^(a)
	GAAP 計上 ⁽¹⁾	パーチェス アカウント イング調整	買収関連費 用 ⁽²⁾	一部の重大 事項 ⁽³⁾	
売上収益	\$1,047	\$-	\$-	\$-	\$1,047
売上原価 ^(b)	393	(1)	(3)	(1)	388
売上総利益	654	1	3	1	659
販売・一般管理費 ^(b)	338	-	-	(7)	331
研究開発費 ^(b)	102	-	-	(9)	93
無形資産の減価償却 ^(c)	16	(12)	-	-	4
リストラ費用および一部の買収関連費用	25	-	(11)	(14)	-
支払い利息	8	-	-	-	8
その他の正味 (利益) /控除	(6)	-	-	-	(6)
法人税引当金引き前利益	171	13	14	31	229
法人税引当金	59	4	5	8	76
継続的事業活動による利益	112	9	9	23	153
非支配持分に帰属する純利益	1	-	-	-	1
Zoetis に帰属する純利益	111	9	9	23	152
Zoetisに帰属する普通株 1株あたり収益-希薄化 後 ^(d)	0.22	0.02	0.02	0.05	0.30

- (a) GAAP に基づかない調整後純利益、その構成要素、GAAP に基づかない調整後希薄化後 1株あたり利益は、米国の GAAP 純利益、その構成要素および希薄化後 1株あたり利益の代替ではなく、またこの代替と見なすべきではない。目標設定および業績評価におけるこれらの指標の重要性にもかかわらず、GAAP に基づかない調整後純利益、その構成要素、GAAP に基づかない調整後希薄化後 1株あたり利益は、米国 GAAP に定められた標準化された意味を持たない GAAP に基づかない財務指標であり、投資家に対する有用性には限りがある。定義が標準化されていないため、GAAP に基づかない調整後純利益、その構成要素、GAAP に基づかない調整後希薄化後 1株あたり利益 (米国 GAAP 純利益、その構成要素および希薄化後 1株あたり利益とは異なり) は、他社の類似の指標の計算と同等とは限らない。GAAP に基づかない調整後純利益、その構成要素および GAAP に基づかない調整後希薄化後 1株あたり利益は、経営陣が業績を評価する方法をより深く理解するために、投資家のみに対して提示される。
- (b) 無形資産の減価償却を除く。但し、以下の脚注(c)の記述を除く。

- (c) 当社の製品、化合物および知的財産の販売、製造、調査、マーケティングおよび流通能力を高める、耐用年数に限りのある取得済無形資産に関連する原価償却費は、当該無形資産は、複数の事業機能に恩恵を与えるため、*無形資産の減価償却*に含まれている。単一の機能に関連する取得済無形資産に関する償却費は、*売上原価*、*販売*、*一般管理費*、*研究開発費*に適宜含まれている。
- (d) 1株当たり利益額は、四捨五入により合算額が合わない場合がある。

GAAPに基づかない調整後情報に計上された GAAP 調整に対する注については、注(1)、(2)および(3)を参照。

一定額は、四捨五入されている場合がある。

ZOETIS INC.
GAAP に基づかない調整後情報に計上された GAAP の調整に対する注
一部項目
(未監査)
(百万ドル)

(1) 連結損益計算書は、2013年3月31日および2012年4月1日を末日とする3ヶ月間を示している。米国外で活動する子会社は、2013年2月24日と2012年2月26日を末日とする3ヶ月間に含まれている。

(2) 買収関連費用は以下を含む：

	第1四半期	
	2013	2012
統合費用 ^(a)	\$4	\$9
リストラ費用 ^(a)	2	2
追加償却—資産リストラ ^(b)	-	3
買収関連費用—税引前 合計	6	14
法人税 ^(c)	2	5
買収関連費用—税引き後 合計	\$4	\$9

(a) 統合費用とは、買収した事業の統合に直接的に関連する、外部の増分支出をあらわし、主に、コンサルティングおよびシステムやプロセスの統合費用を含む。リストラ費用は、当社が継続しない従業員、資産および活動に関連する費用である。これらの費用はすべて、リストラ費用および一部の買収関連費用に含まれている。

(b) リストラ活動に関与する資産の推定寿命の変化の影響を表す。2012年4月1日を末日とする3ヶ月間の売上原価に含まれる。

(c) 法人税引当金を含む

(3) 一部の重大事項とは、以下を含む：

	第1四半期	
	2013	2012
リストラ費用 ^(a)	\$1	\$14
実行費用および追加償却—資産リストラ ^(b)	2	10
一部の資産減損費 ^(c)	1	-
設立費 ^(d)	34	6
その他 ^(e)	4	1
一部の重大事項—税引前 合計	42	31
所得税 ^(f)	15	8
一部の重大事項—税抜き 合計	\$27	\$23

(a) コスト削減/生産性向上イニシアチブのために発生したリストラ費用を表す。リストラ費用および一部の買収関連費用に含まれる。

(b) コスト削減/生産性向上イニシアチブ関連費用。2013年3月31日を末日とする3ヶ月間の販売、一般管理費に含まれる。2012年4月1日を末日とする3ヶ月間の研究開発費(900万ドル)、販売、一般管理費(100万ドル)に含まれる。

(c) 2013年3月31日に終了する3ヶ月間のその他正味(利益)/控除に含まれる。

(d) 新たなブランディング(必要とされる新パッケージの製造過程の修正を含む)、スタンドアローンのシステムやインフラの構築、サイトの分離および一部の法律上の登記や特許割り当て費用など、独立企業になることに関連する一部の経常外費用。2013年3月31日を末日とする3ヶ月間の販売・一般管理費(3200万ドル)および売上原価(200万ドル)に含まれる。2012年4月1日を末日とする3ヶ月間の販売・一般管理費に含まれる。

(e) 2013年3月31日を末日とする3ヶ月間は主に、分離に関連する暫定的製造契約に関する見積もりの変化に関連している。

(f) 法人税引当金に含まれる。所得税は、税引前額の司法管轄場所を決定し、当該司法管轄区の関連する税率を適用することにより計算される関連する税引前額の税効果を含む。

ZOETIS INC.
 一部の調整後原価および費用^(a)
 (未監査)
 (百万ドル)

(黒字) /赤字	第 1 四半期		変化率		
	2013	2012	合計	外国為替	経常
調整後売上原価 ^(a)	\$398	\$388	3%	1%	2%
売上収益における比率	36.5%	37.1%	NA	NA	NA
調整後販売一般管理費 ^(a)	322	331	(3)%	(1)%	(2)%
調整後研究開発費 ^(a)	90	93	(3)%	-	(3)%
合計	\$810	\$812	-	-	-

- (a) 調整後売上原価、調整後販売・一般管理費 (SG&A) および調整後研究開発費 (R&D) は、パーチェスアカウント調整、買収関連費用および一部の重大事項を除く、相当する計上済みの米国の一般的に認められている会計原則 (GAAP) の損益計算書の項目として定義されている。2013 年 3 月 31 日および 2012 年 4 月 1 日を末日とする 3 ケ月間について計上されている一部の調整後情報の調整は、本資料に記載され、本報告に添付されている。これらの調整後損益計算書項目の指標は、対応する米国 GAAP 項目の代替ではなく、また代替と見なすべきではない。

ZOETIS INC.
2013 年ガイダンス

一部の項目	
売上収益	44 億 2500 万ドル～45 億 2500 万ドル
売上収益における比率としての調整後売上原価 ^(a)	35%～36%
調整後販売・一般管理費 ^(a)	13 億 8500 万ドル～14 億 3500 万ドル
調整後研究開発費 ^(a)	3 億 8500 万ドル～4 億 1500 万ドル
調整後支払い利息 ^(a)	約 1 億 1500 万ドル
調整後その他（利益）/控除 ^(a)	約 2000 万ドル利益
調整後純利益に対する実質税率 ^(a)	約 29.5%
計上した希薄化後 1 株当たり利益	1.00 ドル～1.06 ドル
調整後希薄化後 1 株当たり利益 ^(a)	1.36 ドル～1.42 ドル
一部の重大事項 ^(b) および買収関連費用	2 億ドル～2 億 4000 万ドル

2013 年通年のガイダンスは、2013 年第 1 四半期および同年のそれ以降の期間の 4 月半ば時点に有効である実際の為替レートの混合を想定している。

2013 年調整後純利益、Zoetis に帰属する 2013 年に計上済み純利益の調整後希薄化後 1 株当たり利益ガイダンスおよび Zoetis 普通株主に帰属する計上済み希薄化後 1 株当たり利益ガイダンスの調整は以下のとおりである：

(百万ドル、1 株当たりの金額を除く)	2013 年通年ガイダンス	
	純利益	希薄化後 1 株当たり利益
調整後純利益/希薄化後 1 株当たり利益 ^(a) ガイダンス	～\$680 - \$710	～\$1.36 - \$1.42
パーチェスアカウンティング調整	(35)	(0.07)
一部の重大事項 ^(b) および買収関連費用	(130 - 160)	(0.26 - 0.32)
Zoetis に帰属する計上済み純利益/希薄化後 1 株当たり利益ガイダンス	～\$500 - \$530	～\$1.00 - \$1.06

- (a) 調整後純利益、その構成要素および調整後希薄化後 1 株当たり利益とは、パーチェスアカウンティング調整、買収関連費用および一部の重大事項を除く、計上済みの米国的一般的に認められている会計原則（GAAP）に基づく純利益とその構成要素、および計上済みの希薄化後 1 株当たり利益として定義されている。調整後売上原価、調整後販売・一般管理費（SG&A）、調整後研究開発費（R&D）、調整後支払い利息および調整後のその他（利益）/控除は、同じ根拠で作成された損益計算書項目であるため、全体的な調整後利益指標の構成要素である。目標設定および業績評価の管理におけるこれらの指標の重要性にもかかわらず、調整後純利益およびその構成要素、調整後希薄化後 1 株当たり利益は、米国 GAAP に定められた標準化された意味を持たない GAAP に基づかない財務指標であり、投資家に対する有用性には限りがある。定義が標準化されていないため、調整後純利益、その構成要素、調整後希薄化後 1 株当たり利益（米国 GAAP 純利益、その構成要素および希薄化後 1 株当たり利益とは異なり）は、他社の類似の指標の計算と同等とは限らない。調整後純利益、その構成要素および調整後希薄化後 1 株当たり利益は、経営陣が業績を評価する方法をより深く理解するために、投資家のみに対して提示される。これらの調整後純利益、その構成要素および調整後希薄化後 1 株当たり利益は、米国 GAAP に基づく純利益、その構成要素および調整後希薄化後 1 株当たり利益の代替ではなく、また代替と見なすべきではない。
- (b) 新たなブランディング（必要とされる新パッケージの製造過程の修正を含む）、スタンドアローンのシステムやインフラの構築、サイトの分離および一部の法律上の登記や特許割り当て費用など、独立企業になることに関連する一部の経常外費用を含む。

ZOETIS INC.
セグメント^(a)および種類別連結売上収益
(未監査)
(百万ドル)

	第1四半期		合計	変化率	
	2013	2012		外国為替	経常
売上収益：					
家畜	\$706	\$691	2%	(1)%	3%
コンパニオンアニマル	384	356	8%	-	8%
売上収益合計	\$1,090	\$1,047	4%	(1)%	5%
米国					
家畜	\$245	\$240	2%	-	2%
コンパニオンアニマル	209	185	13%	-	13%
米国売上収益合計	\$454	\$425	7%	-	7%
欧州/アフリカ/中東					
家畜	\$195	\$187	4%	1%	3%
コンパニオンアニマル	95	88	8%	2%	6%
欧州/アフリカ/中東売上収益合計	\$290	\$275	5%	1%	4%
カナダ/ラテンアメリカ					
家畜	\$139	\$138	1%	(5)%	6%
コンパニオンアニマル	32	35	(9)%	(4)%	(5)%
カナダ/ラテンアメリカ売上収益合計	\$171	\$173	(1)%	(5)%	4%
アジア/太平洋					
家畜	\$127	\$126	1%	(2)%	3%
コンパニオンアニマル	48	48	-	(2)%	2%
アジア/太平洋売上収益合計	\$175	\$174	1%	(1)%	2%
家畜：					
牛	\$390	\$400	(3)%	(1)%	(2)%
豚	158	143	10%	(1)%	11%
鶏	133	121	10%	(2)%	12%
その他	25	27	(7)%	(4)%	(3)%
家畜売上収益合計	\$706	\$691	2%	(1)%	3%
コンパニオンアニマル：					
馬	\$42	\$45	(7)%	1%	(8)%
犬・猫	342	311	10%	-	10%
コンパニオンアニマル売上収益合計	\$384	\$356	8%	-	8%

(a) 各セグメントの償却については、2012年12月31日を末日とする年度の Zoetis フォーム 10-K に含まれる Zoetis の総合財務諸表注 17A を参照。

一定額および比率は、四捨五入されている場合がある。

ZOETIS INC.
セグメント収益^(a)
(未監査)
(百万ドル)

	第1四半期		変化率		
	2013	2012	合計	外国為替	経常
米国	\$234	\$217	8%	-	8%
欧州/アフリカ/中東	117	104	13%	(3)%	16%
カナダ/ラテンアメリカ	52	54	(4)%	(13)%	9%
アジア/太平洋	75	71	6%	-	6%
要報告セグメント合計	478	446	7%	(3)%	10%
その他の事業活動 ^(b)	(74)	(65)	14%		
調整項目:					
コーポレート ^(c)	(116)	(129)	(10)%		
パーチェスアカウンティング調整 ^(d)	(12)	(13)	(8)%		
買収関連費用 ^(e)	(6)	(14)	(57)%		
一部の重大事項 ^(f)	(42)	(31)	35%		
その他 未割当 ^(g)	(36)	(23)	57%		
合計収益 ^(h)	\$192	\$171	12%		

- (a) 各セグメントの説明については、2012年12月31日を末日とする年度の Zoetis フォーム 10-K に含まれる Zoetis の総合財務諸表注 17A を参照。
- (b) その他の事業活動は、当社の研究開発組織が管理する研究開発費を反映している。
- (c) コーポレートとは、中でも、管理費、引当支払い利息、一部の補償およびその他の営業セグメントに計上していない費用を含む。
- (d) パーチェスアカウンティング調整とは、営業セグメントに計上していない在庫、無形資産、不動産、工場および設備の適正価格調整に関連する一部の費用を含む。
- (e) 買収関連費用とは、引当移行費用、統合費用、リストラ費用および資産リストラに関連する追加償却費など、新たに取得した事業の取得、統合およびリストラの費用を含むことができる。
- (f) 一部の重大事項とは、その性質または規模の結果として、定期的に当社の通常の業務の一環として発生すると思われず、大規模な、異例の項目である。当該項目には主に、買収、分社化関連による収入支出および、独立企業になることに関連する一部の費用に関連しない、当社のコスト削減/生産性向上イニシアチブに関連するリストラ費用および実行費用を含む。
- (g) 営業セグメントに直接的に帰属しない、製造および商業活動に関連する諸経費を含む。
- (h) 法人税引当金引き前利益と定義する。

一定額および比率は、四捨五入されている場合がある。